
都市空間デザインについて

【目次】

1 . 駅周辺地域の目指す将来像	1
2 . 都市空間デザインの基本的な考え方	2
3 . 都市空間別の紹介	3
4 . 出会(であい)の景(けい) <アメニティ軸>	4
5 . 木立(こだち)の景(けい) <森のみち>	8
6 . 水辺(みずべ)の景(けい) <水辺の小径>	10

熊本駅周辺地域の将来像 ~ 熊本駅周辺地区将来ビジョン (H17.3 : 熊本県)

まちづくりの理念

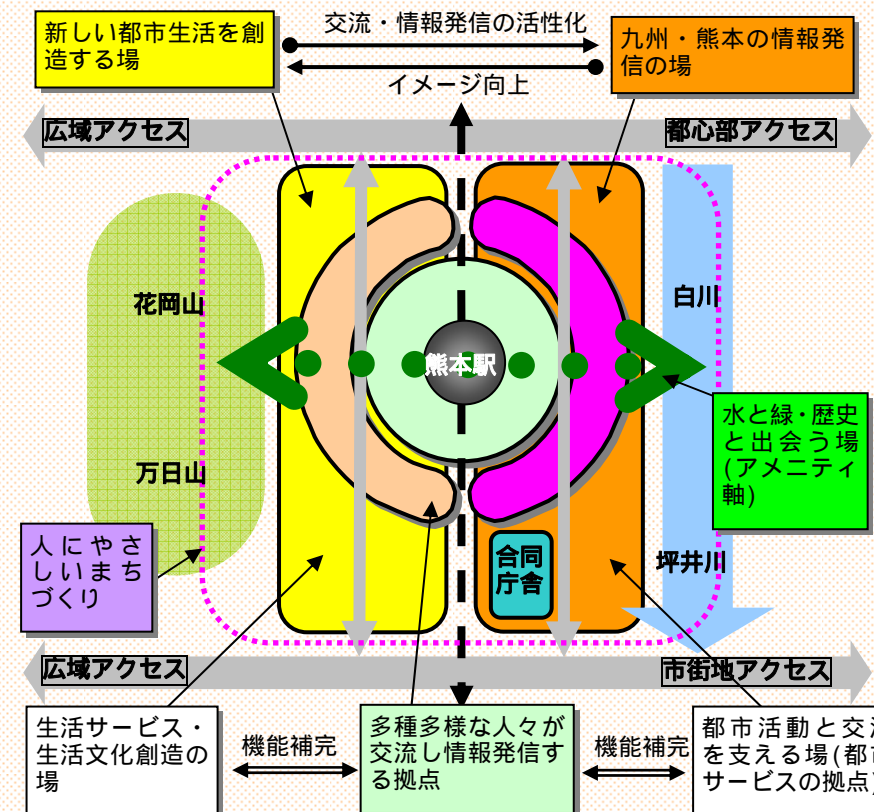
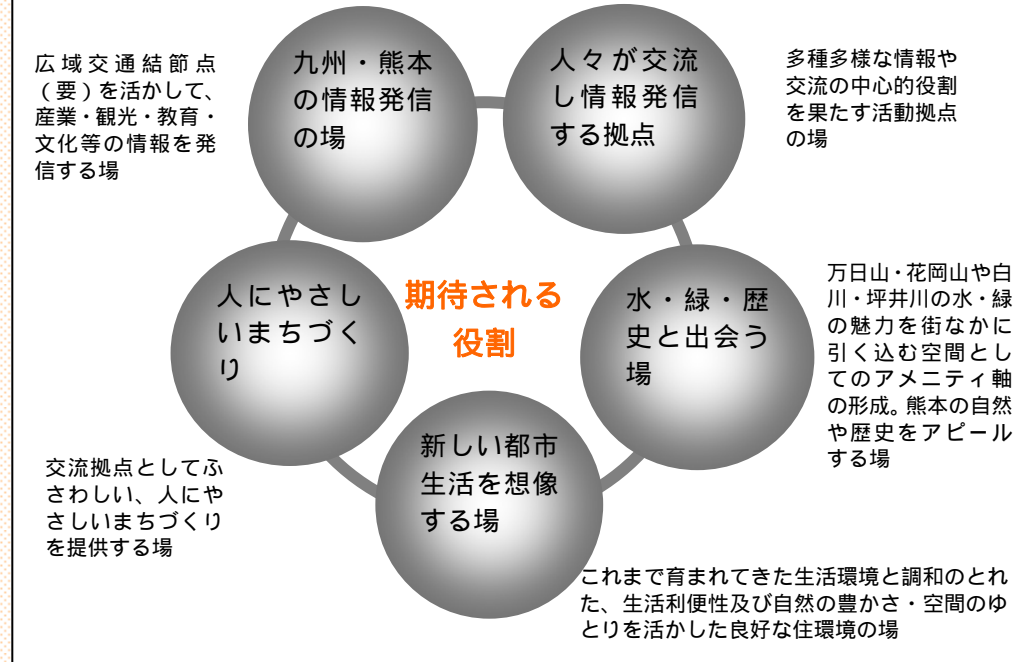
出会いとふれあいのあるまちづくり
 人にやさしく利便性の高いまちづくり
 水と緑の自然や歴史性を活かしたまちづくり

まちづくりのテーマ

人・文化・自然と出会う くまもと・交流舞台
 (パーク・ステーション)

熊本駅周辺地区に集う人々が九州・熊本の魅力と個性を素材とした情報発信と交流を行う「交流舞台」の形成
 人々が情報交換や交流したり休憩できる場所(まちにとっての広場や公園)であり新幹線駅と一体となった交流舞台としての『パーク・ステーション』づくり

期待される役割 と まちづくりの方向性



都市空間デザインの基本的な考え方

駅として使いやすく、公園として居心地良く、街として住みやすい
熊本に育まれた文化に根ざした都市空間

古より熊本に育まれた文化「簡易・善良・素朴の精神」に根ざしたまちづくりを目指して、過度に華々しい開発を競うのではなく、風土や自然環境に配慮すると共に、個々の空間が互いに協調し、人や自然にやさしいまとまりを備える、環境の世紀にふさわしい新たな熊本・都市空間を創出する。

基本的な考え方を実現する3つの要素

空間

- ・相互の施設や機能が連携する、トータルデザインの都市空間
- ・歴史、風土、環境資源を活かし、快適性を備えた都市空間
- ・利便性や回遊性と共に、まとまりや一体感をもつ都市空間
- ・環境と人、公共空間と民有空間、それぞれが協調する都市空間

ひと

- ・使い勝手が良く、わかりやすい、人にやさしい都市空間
- ・街全体が駅として、心地良く活動できる都市空間
- ・ひとと自然が共存し、相互にやさしい都市空間
- ・「おもてなしの心」が感じられる都市空間

時間

- ・森のように成長し、時とともに親しみを増す都市空間
- ・時の積み重ねが街を育み、百年経ても新しさを感じる都市空間
- ・市民、地域、行政が一体となってつくり、時と共に更新する持続可能な都市空間

大切にしたい熊本の都市環境



熊本城周辺の緑



市街地の森



北岡神社のご神木



白川から花岡山へ望む広々とした空



白川から都心部を望む緑豊かな親水空間



市街地のにぎわい

1 . 出会いの景 (アメニティ軸)

にぎわい豊かな森と水の
シンボリックな空間

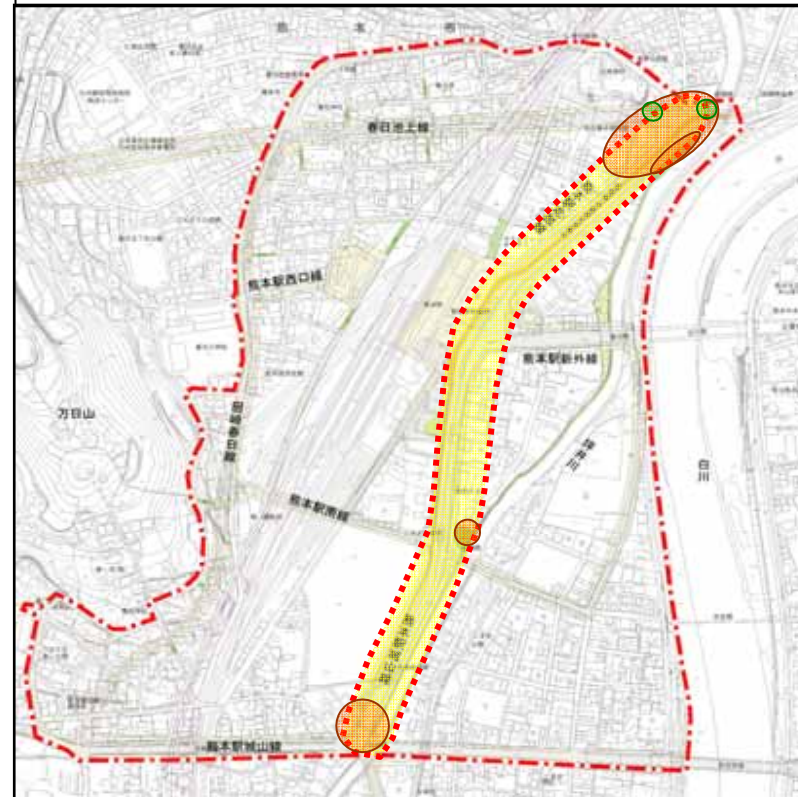


大切にする主な構成要素

- ・道路...駅前広場（東口・西口）
- ・道路...熊本駅新外線
- ・道路...熊本駅西口線
- ・道路...大きな隅切り（交流広場）
- ・道路...春日橋
- ・河川...水辺の広場
- ・河川...石塘、石塘堰
- ・道路...東のゲート
- ・道路...西のゲート
- ・道路附属...ペDESTリアンデッキ
- ・道路附属...市電電停施設
- ・鉄道...熊本駅舎
- ・沿道敷地...東A地区（建物・外構）
- ・沿道敷地...その他沿道建物と外構

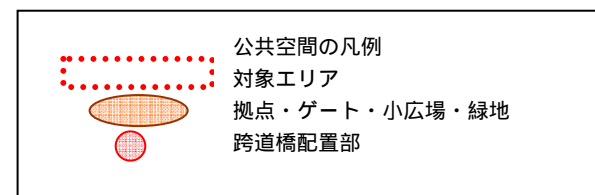
2 . 木立の景 (森のみち)

美しい熊本の緑に包まれた
市電が走る空間



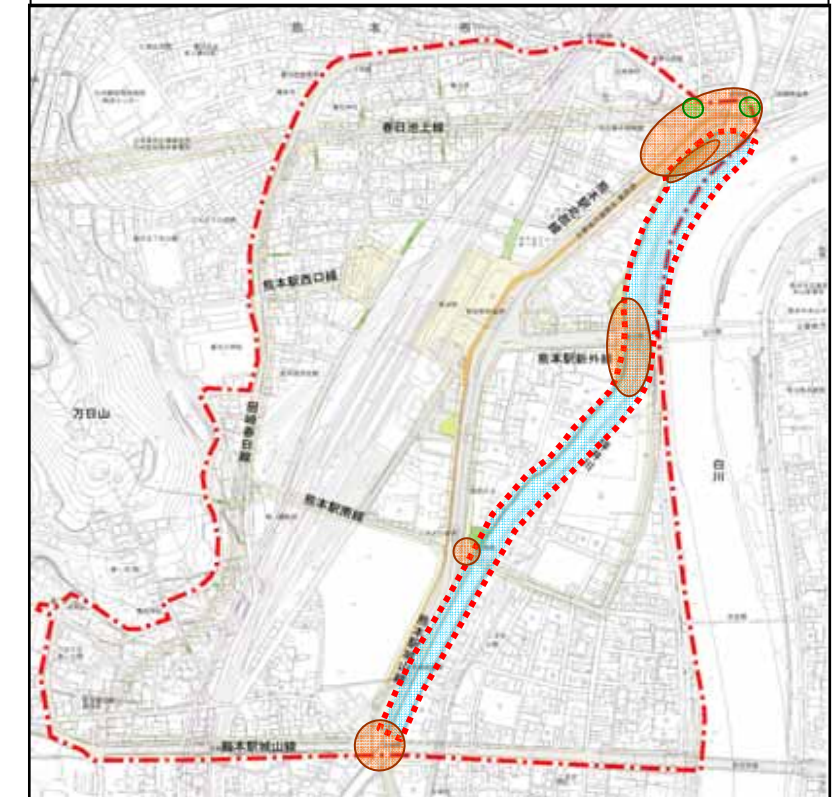
大切にする主な構成要素

- ・道路...熊本駅北部線
- ・道路...熊本駅城山線（南北方向）
- ・道路...祇園橋周辺：北のゲート・北の回遊拠点
- ・道路...三嬌橋周辺：南の回遊拠点
- ・道路...田崎橋周辺：南のゲート
- ・道路...二本木緑地
- ・道路附属...合同庁舎脇電停施設
- ・沿道敷地...合同庁舎 建物・外構
- ・沿道敷地...その他沿道建物と外構



3 . 水辺の景 (水辺の小径)

心地よい水辺
うるおいの空間



大切にする主な構成要素

- ・河川...白川 坪井川
- ・河川...水辺の広場
- ・河川...水辺の小径
- ・河川...石塘、石塘堰
- ・道路...背割堤上の歩行者専用道路
- ・道路...春日橋
- ・道路...熊本駅城山線（坪井川に沿う部分）
- ・道路...祇園橋周辺：北のゲート・北の回遊拠点
- ・道路...三嬌橋周辺：南の回遊拠点
- ・道路...田崎橋周辺：南のゲート
- ・道路...東のゲート
- ・沿道敷地...その他沿道建物と外構

(1) コンセプト

豊かな緑 万日山へつながる軸

四季の移ろい、明快なビスタの眺めを備えた空間
駅前広場やホームから万日山、花岡山の緑を眺める
軸線

にぎわいのメインストリート

コンコース内から電停や広場を眺める軸線
ホーム ←→ コンコース ←→ 広場

期待
半屋内感

落ち着き
包まれ感

躍動
開放感

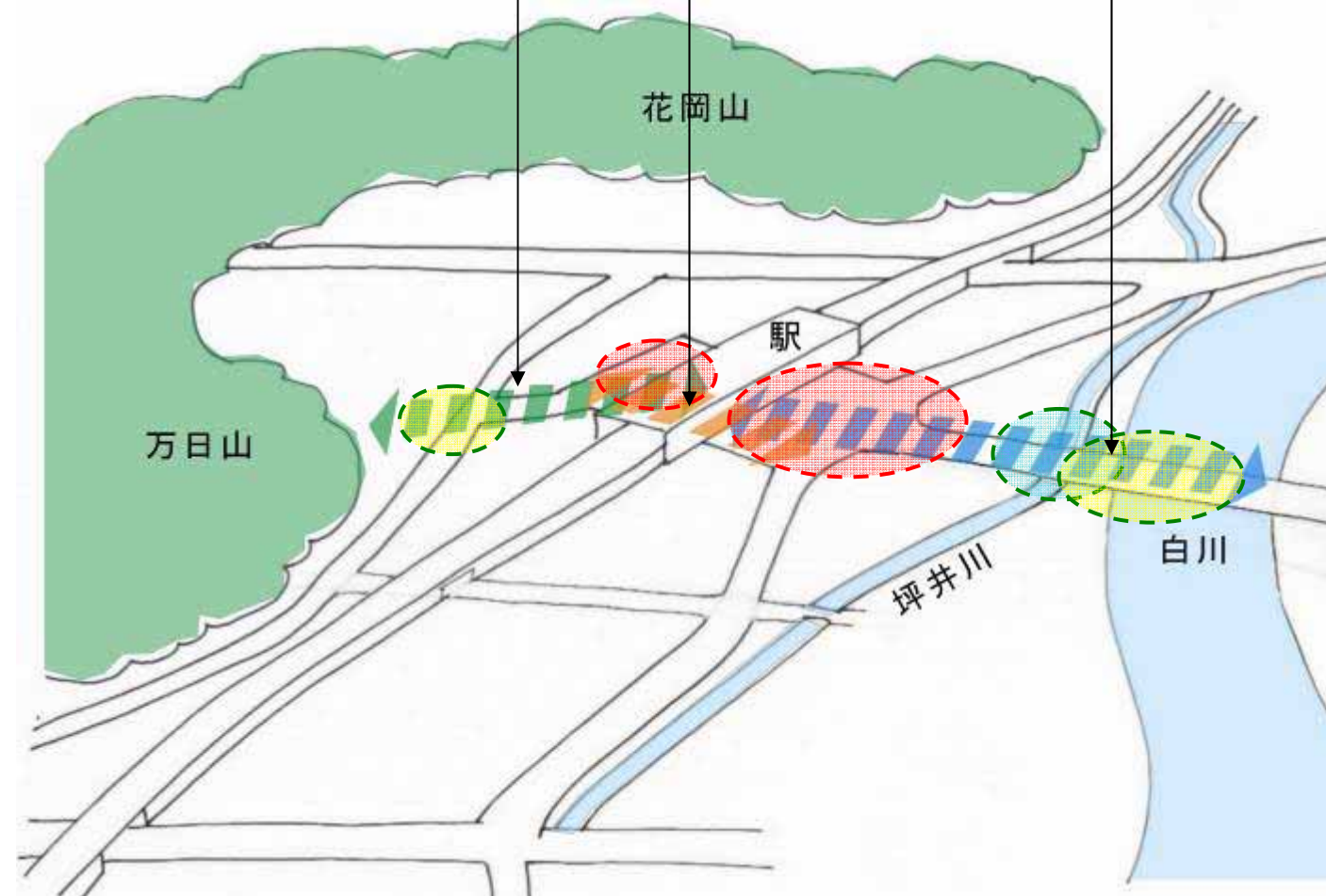
にぎわいからうるおいへとつづく軸

駅前の「にぎわい」から水辺の「うるおい」へと移行する主要な動線
熊本らしさの第一印象を醸し出す、大切な空間

・公園のようなまとまりの感じられる豊かな緑、様々な形態の緑を基盤とした空間を形成する。

・道路と沿道施設とが一体となって、にぎわいやうるおいの空間を構成すると共に、歩行空間の広がり形成する。

・昼も夜も安全安心な空間を構成する。



・駅から水辺広場へと導く明快な方向性を形成する。

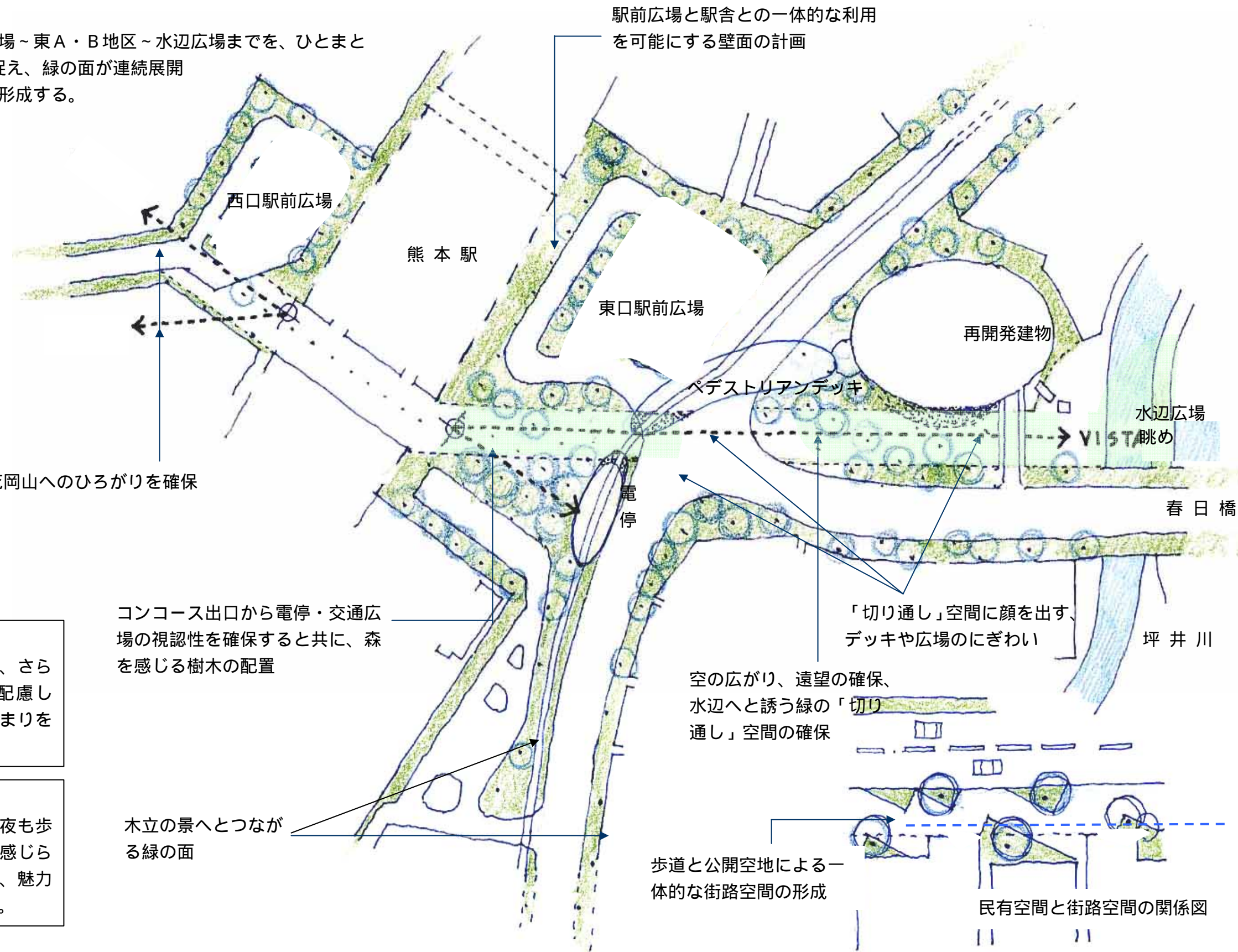
・周辺の山並みを眺められ、地域の地勢が感じられる場を形成する。

・万日山や花岡山の緑、坪井川や白川の水辺のうるおい等、周辺環境との一体性が心地よく感じられる空間を構成する。

(2) 空間の考え方

緑について

西口駅前広場～東口駅前広場～東A・B地区～水辺広場までを、ひとまとまりの「公園(パーク)」と捉え、緑の面が連続展開する、自然豊かな公園空間を形成する。



万日山、花岡山へのひろがり確保

私有空間

沿道のまとまり
建築物や屋外広告物の形態、さらに色彩や素材の構成にも配慮して、出会の景としてのまとまりを形成する。

沿道との連携
沿道建物の低層部は、昼も夜も歩行者が街の楽しさや活力を感じられるように配慮すると共に、魅力的な夜間景観の創出を図る。

コンコース出口から電停・交通広場の視認性を確保すると共に、森を感じる樹木の配置

木立の景へとつながる緑の面

駅前広場と駅舎との一体的な利用を可能にする壁面の計画

「切り通し」空間に顔を出す、デッキや広場のにぎわい

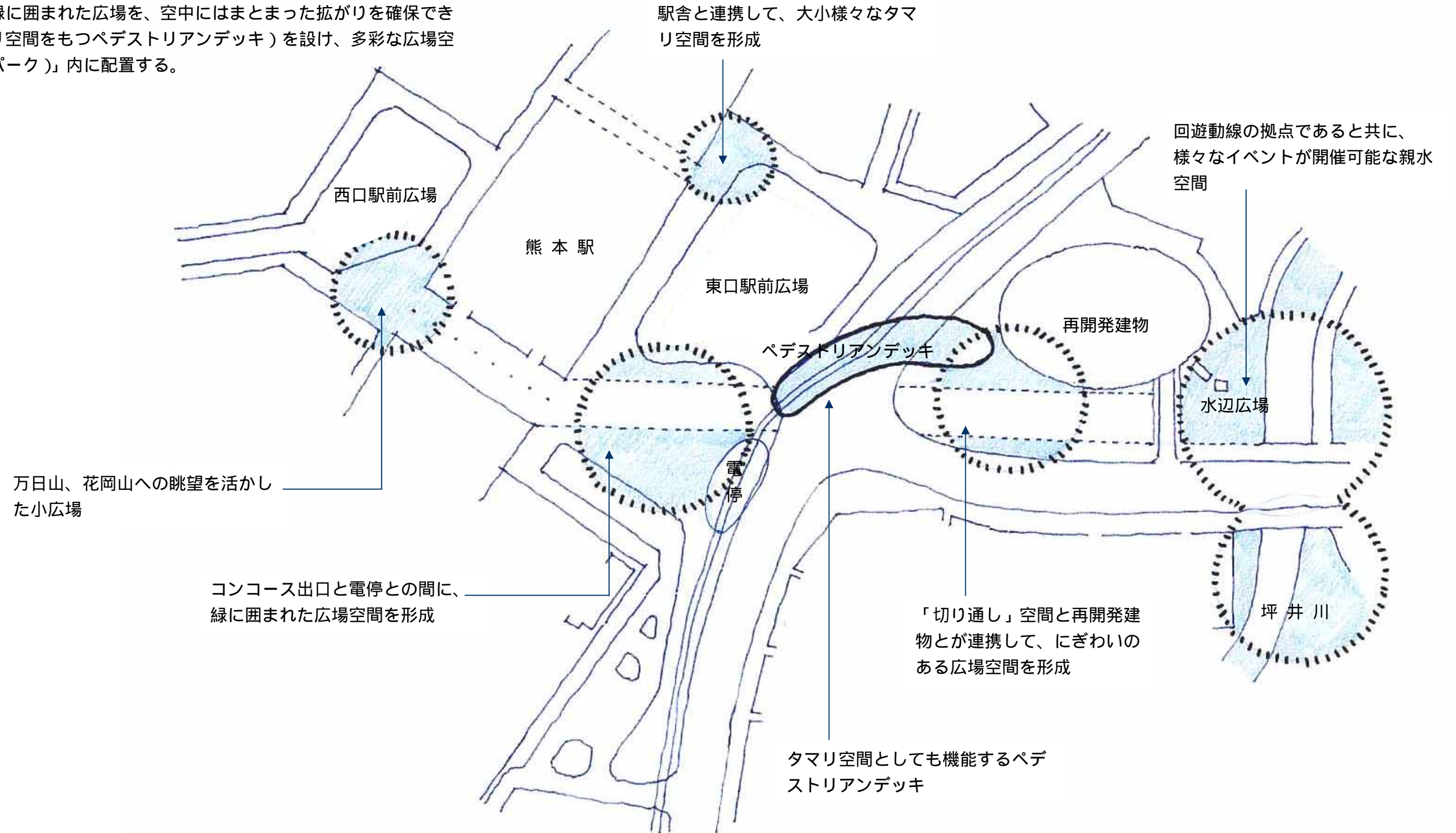
空の広がり、遠望の確保、水辺へと誘う緑の「切り通し」空間の確保

歩道と公開空地による一体的な街路空間の形成

私有空間と街路空間の関係図

タマリ空間について

地上部には緑に囲まれた広場を、空中にはまとまった広がり確保できる広場（タマリ空間をもつペDESTリアンデッキ）を設け、多彩な広場空間を「公園（パーク）」内に配置する。



人の動きについて

電車、市電、バス、タクシー、一般車等、すべての交通機関の相互乗換えがしやすい機能性を実現する。

また、再開発建物や水辺広場へ、自然に導くアクセス可能なペDESTリアンデッキを設置する。

